

策定背景と趣旨

背景

新産業の創出や既存産業の高度化といった視点はもとより、社会課題の解決や地域の活性化に資するイノベーションへの期待の高まり

趣旨

民間からの提案を起点として、社会課題の解決・地域の活性化を図る官民連携プロジェクトを創出

世界に輝く国際イノベーション都市づくりを目指す

戦略の位置づけ

- 社会課題の解決や地域の活性化に向けた県の取組の枠組み（＝フレームワーク）の提示
- 「あいちビジョン2030」及び県の個別計画等に基づく取組と連携
- 「Aichi-Startup戦略」と両輪で愛知発イノベーションを創出

「革新事業創造戦略」（枠組みの提示）



「Aichi-Startup戦略」（アクションプラン）

愛知県の国際イノベーション都市への展開を両輪で推進

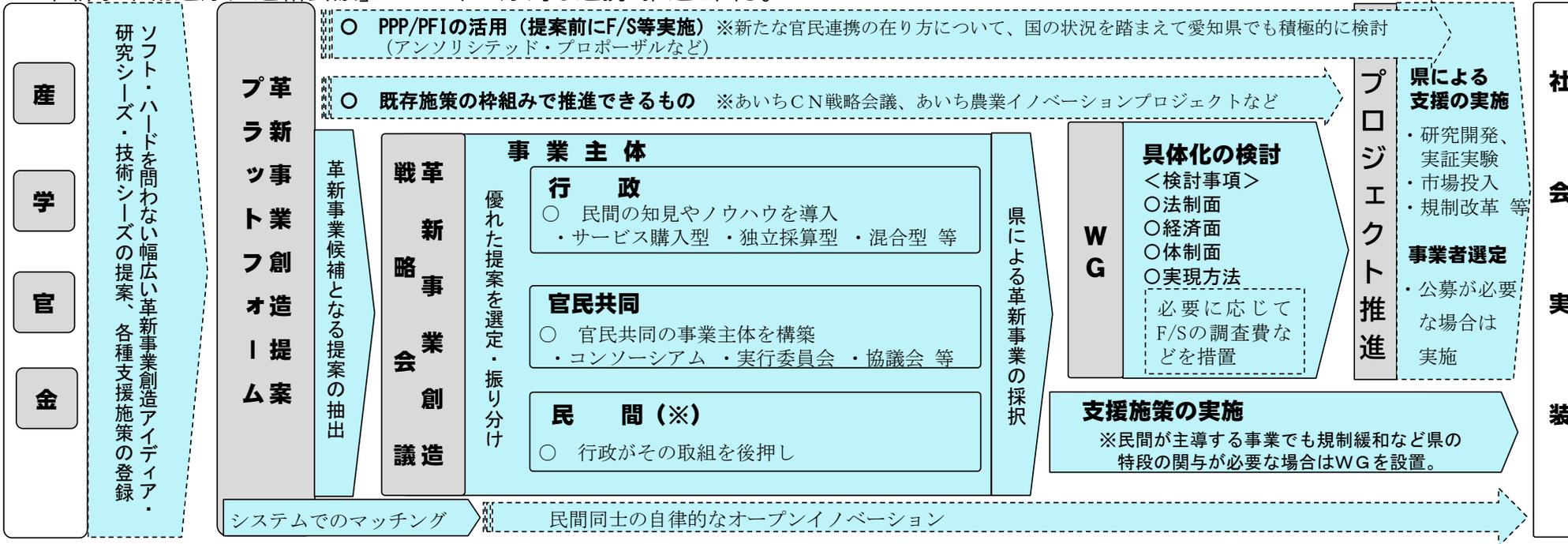
「革新事業」とは

- 民間提案を起点とした新しい価値を創造するプロジェクトの社会実装を通じて、社会課題の解決や地域の活性化を実現するようなイノベーションの創出を目指す。
- 5つの視点（革新性、必要性、共創性、実現性、インパクト）から高く評価できる提案を、「革新事業」として採択し、官民連携のプロジェクトとしていく。

妥当性→共創性に変更
(理由は第3章参照)

推進体制

- 産学官金の多様な主体から革新事業創造に向けた提案を受け付ける「革新事業創造提案プラットフォーム」を構築・運営。
- 「革新事業創造戦略会議」において優れた提案を選定し、県が革新事業を採択。革新事業の具体化について、ワーキンググループ(WG)を設置し検討。
- 「革新事業創造庁内連絡会議」において、全庁的な連携・推進を図る。



第2章 イノベーション創出に向けて重点的に取り組むべき政策分野の導出及び各分野の方向性と取組

- 「あいちビジョン2030」の政策分野や「社会課題解決や地域活性化を目指す官民連携プロジェクトの創出」の観点から7つの重点政策分野を設定
- 産業・領域別に力を注ぐ「個別分野軸」と、あらゆる分野の横串として必要となる「分野横断軸」の2つの軸で整理
- 愛知県独自の強みや地域資源、当該分野における先行的な各種プロジェクト等を活かした革新事業の創造に向けて必要となる取組の方向性を示す
- 様々なイノベーションの芽を育む観点から、提案は重点政策分野に関わらず、革新事業創造提案プラットフォームで幅広く受付

健康長寿 個別分野軸

- 課題
 - ✓ 急激な高齢化の進行
 - ✓ 支援が必要な高齢者の急増
 - ✓ 社会保障費の増大
- 愛知県での先行プロジェクトやシーズ
 - ✓ あいち健康長寿産業クラスター推進協議会
 - ✓ 国立長寿医療研究センター
 - ✓ 健康長寿社会形成ビジネスモデル創出調査事業
 - ✓ あいちデジタルヘルスプロジェクト

取組の方向性

国立長寿医療研究センターを始めとした産学行政連携による共同研究開発など、健康長寿分野におけるオープンイノベーションの推進



【出所】国立長寿医療研究センター

農林水産業 個別分野軸

- 課題
 - ✓ 担い手の減少・高齢化
 - ✓ 気候変動、カーボンニュートラルへの対応
 - ✓ 食料安全保障上の脅威
- 愛知県での先行プロジェクトやシーズ
 - ✓ 愛知県農業総合試験場
 - ✓ あいち農業イノベーションプロジェクト

取組の方向性

あいち農業イノベーションプロジェクトを中核に新イノベーションアイデア・新技術を活用した共同研究を推進し、実用化・社会実装を実現



防災・危機管理 個別分野軸

- 課題
 - ✓ 南海トラフ地震をはじめとした大規模自然災害等のリスクの高まり
 - ✓ 海拔ゼロメートル地帯への対応
 - ✓ 社会資本の老朽化
- 愛知県での先行プロジェクトやシーズ
 - ✓ 愛知県基幹的広域防災拠点の整備

取組の方向性

基幹的広域防災拠点の整備を契機として、平常時の防災教育・防災ビジネスなども含めた、新しい官民連携による地域の防災力の向上に資する取組を推進



文化芸術 個別分野軸

- 課題
 - ✓ 文化芸術と経済の好循環の創出
 - ✓ 文化資源等を活かした地域力向上とアート市場の国際拠点化
 - ✓ 経済政策の新機軸としての文化芸術の推進
- 愛知県での先行プロジェクトやシーズ
 - ✓ 国際芸術祭「あいち2022」
 - ✓ 文化施設等の集積

取組の方向性

国際芸術祭や地域の資源を活かし、世界に文化芸術を発信するとともに、経済政策の新機軸である文化芸術と経済の好循環を推進



スポーツ 個別分野軸

- 課題
 - ✓ スポーツを通じた地域活性化、社会課題の解決
 - ✓ スポーツの成長産業化
- 愛知県での先行プロジェクトやシーズ
 - ✓ 第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)・第5回アジアパラ競技大会
 - ✓ 愛知県新体育館の整備

取組の方向性

2026年アジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催、愛知県新体育館の整備を起爆剤として、スポーツ分野におけるオープンイノベーションを推進



©Aichi International Arena

GX 分野横断軸

- 課題
 - ✓ カーボンニュートラルの実現
 - ✓ 循環型社会の加速
 - ✓ 生物多様性の保全と持続可能な利用
- 愛知県での先行プロジェクトやシーズ
 - ✓ あいちカーボンニュートラル戦略会議
 - ✓ 生物多様性の保全
 - ✓ あいち・とこなめスーパーシティ構想
 - ✓ 循環ビジネスの創出支援

取組の方向性

カーボンニュートラルやサーキュラーエコミー、生物多様性保全を実現するイノベーションを通じた環境・経済・社会の統合的向上を推進



DX 分野横断軸

- 課題
 - ✓ デジタル社会への対応
 - ✓ 地方におけるデジタル技術の活用
 - ✓ 行政分野のデジタル化・DXの推進
- 愛知県での先行プロジェクトやシーズ
 - ✓ あいちデジタルアイランドプロジェクト
 - ✓ MaaSの普及促進

取組の方向性

デジタル技術の活用による新しい商品・サービス・ビジネスモデルの開発を通じた付加価値の創出、社会制度の変革の推進



第3章 イノベーション創出の枠組み

- 産学官金の多様な主体からの提案を受け付ける「**革新事業創造提案プラットフォーム（愛称：A-idea（アイデア））**」を構築。
- 革新事業創造アイデア提案、技術・研究シーズ、支援施策をデータベース化し、**マッチング**。
- さらに、「**革新事業創造戦略会議**」で**優れた提案を選定**。県が革新事業として採択し、**官民が連携した検討・推進体制**を設け、**社会実装に向けた事業スキーム**を構築することで、革新事業の具体化を図る。

革新事業の創造に向けた3つのフェーズと各フェーズにおける取組

フェーズ1

「**革新事業創造提案プラットフォーム（A-idea）**」による「**革新事業創造アイデア**」等の募集・マッチング

- 革新事業創造アイデアの募集
- 技術・研究シーズ・支援施策のデータベース化
- アイデア同士、アイデアとシーズ・支援施策のマッチング
- 革新事業の候補の抽出

革新事業創造提案プラットフォーム
(愛称：A-idea (アイデア))

フェーズ2

「**革新事業創造戦略会議**」による**優れた提案の選定**、**プロジェクトの振り分け**

- 優れた提案の選定
- プロジェクトの振り分け
(事業主体：民間・官民共同・行政)

5つの視点



優れた提案の選定の流れ



フェーズ3

提案の具体化に向けた検討

- ワーキンググループによる具体化の検討
- プロジェクトの推進
 - ・適切な支援策の検討・活用
 - ・適切な事業者選定方法の検討

支援施策の方向性

- 新たな支援施策の検討とともに、適用可能な既存施策も積極的に活用

- ア. 産学行政連携の体制づくり
- イ. 研究開発・実証実験の支援
- ウ. 市場投入・販路拡大の支援
- エ. 人材面の支援
- オ. 資金面の支援
- カ. 制度・規制改革の推進

新たな官民連携の在り方に向けた検討

国通知を受け
記載を追加・変更

国の動向

- 「PPP/PFI推進アクションプラン（令和4年度改訂版）」、「**公共調達における民間提案を実施した企業に対する加点措置に関する実施要領**」等
⇒ 国の省庁等におけるPPP/PFIについて、民間提案に対するインセンティブを制度化
自治体に対してもこの趣旨をふまえた取組の実施を助言

県のこれまでの取組

- 全国的にも特色のあるPFI事業を実施。

今後の方向性

- 国の検討に沿った取組を進めることにより、これまで以上に民間の創意工夫を引き出すことを期待。
 - ・ 民間からの任意の提案について、PFIだけでなくPPPも含めた提案受付制度の整備を検討
 - ・ 事業者選定における第一提案者へのインセンティブ付与のルールづくりを検討



当初案 妥当性 → 変更案 共創性

(変更に至った経緯)

- 有識者会議で「必要性」と「妥当性」の考え方が類似しているため、整理が必要との指摘
- 「必要性」と「妥当性」を統合
- A-ideaはオープンイノベーションを促す仕組みのため、「共創性」の視点を追加

アンソリシテッドプロポーザルの具体化に向けて本県独自のガイドライン作成について検討